第76号

(南部) 町内別世帯数 本町 原稿募集 95 320 「あらや衆報」では、みなさんの原稿を募集 しています。 随筆・紀行文・詩・短歌・俳句・写真などを お寄せ下さい。住所氏名記入の上新屋支所小松 265 3.666 補佐まで。 大門印刷株式会社284615

地域発展 協





平成3年5月20日

205

124

158 225

げての 域住民の協力が必要でありま 大事な行事となり 地

ており

イベ

は 43 て各部会が事業を進めてお 「新屋三新 もとず

び周辺活用、 部会がそれぞれ活躍をしてい 地利用、 業推進協議会」では、 及び雄物川河川敷公園 街及び基盤整備 ます。 「新屋本町」 新屋海道 桜並木帯状公園 浜公園、 国立倉庫及 等の 商店 条跡 事

り行うことになっております。 雄物川の花火大会も例年通

> 市 事を進 念であり めにも、 刀が必要で 思うのであり 力選挙にお を失ったことは、 地域住民のひとりひ 県の議会の め 0 大きな損失で 地域開発の 一人の議 ことに の度の ある とり とた残員地協

展の 認識と関心を持 とを望んでやみません。 ために協力 て下さる 地域

西部地区全体を 地方選挙と新屋 視野 0 に 発展 入 n T

県会議員 高 橋

中半 5 30 感謝申 て多く さきの県会議員選挙 分近く た通り、 度の県議選は、 0) 御支援を賜 が新 定数四十 ます しくなり 激戦と to あた り深 九名

報

衆

の抱える重要課題に解決のメ た。 会に県民が県政の変革を求め た結果であろう が立たず、 口减、 所得格差など本県 今度の選挙 を機

> ます して参り

、たいと思っ

政に参画-町の基礎的条件を整備しつつ新屋地区の将来については てい 今後県民の意志を肝に銘じ県

最

べての 人の幸せを

西部新屋の発展と地方自治

市会議員

新

岡

雅

す

振興策を進めるべきと思っ

と思います。

八年の経験は経 その意味で私は、 大き 62 もの 験と か あり しな 市

私

義は極めて 年代、 後に二 ら厚く ました。 今回の統 御礼 + 初 の選挙だけにその意 世紀を迎える九〇 申 ----地方選挙は十年 あげ ま

たすことができま 戦撻を賜 の皆様から多 この度 0) 大の御支援、 の当選 した。 ては全町 を果 心か 御

これ

から

が実施計画の段階に

幼きもすべての人の幸せ」を

解を求めてきました。

スローガンに訴え、

市民の理

体まだ緒につい

たばかりです。

でありますが

りますが「老いも若きも

六十

一年

十条バ

ルブ解散後、

問題は山と積ま

策定された新屋の三新計画自

私

実行実現 全町の将来展望を考えた場合 42 ま西部 地区全部 なけ んだ次第です。 ばならない 新屋

の選挙にのぞう

からも、

初心に立ち返

は南 であ 続け 人つ 要課 新架 構戦略の

問題があ を基本として今日まで運動を して 時に、 また西部新屋の将来図を画 てい てきま 題 る架橋問題は正しく 羽越線鉄橋の上流二本の 橋と秋田大橋 13 0 きます パス橋、 都心部と結続する架 つであ 交通の動脈 の全面改修 勝平新橋そ 最重

く思い行く道、東田町佐々木富美子

り折々眺めて老いの憂さ忘る 中表町 加賀谷キヱ る

む札幌 の風れ 風の肌 に 副染めず し姉逝きて早や一回忌士 一回忌すぐ せ桜見 多美

華やぎてビル並び 111 尻 立び建つ やえ り影法師と来し風騒の道 比内町 堀井 理

おぼろ月針千

百一夜は惨殺の夢 年田町 佐々木啓二

宵

地域

うな転換期にさしかかってい 魅力ある街であると考えます た「地域づくり」が問われて る今、そうした変化に対応し 社会もこれまでになかったよ している時代にあって、 さて内外ともに急速に変化 今求められるのは

みなものを内蔵した歴史と文 すいわがふるさと新屋は豊 ・人的)のストックされた風化があり、多くの資源(物的 ます。 のスト

削減の復元はもとより、新屋 よってこそ初めて可能であり ます。秋田市の自治権と民主 権限)強化と住民の総参加に 六〇年の国庫補助金の十% りま (自治体の

最大の命題であり の選挙で問 した。 われた

その土地らしさのあふれた、 土であり おります。 · 人的)

しあげ、当選の御挨拶と致し しあげ、当選の御挨拶と致し の発展は地方分権 ます

図ろうという考えの基本に立 その原点を見直す必要のあるするには、今日の地方自治、 つものです。その目標を達成 ことは当然のことです

久し 人しいのですが、その真の幕 から福祉政策への政略転換を 二十一世紀は経済大国政策 5



こ発が

病院、文化スポーツ、娯楽な働き場所であったり、買物、 があります。人が街に来るの

来ない。 条件が整っていなければ人はど多様であるが目的を満たす

ある街づくりに努力している た若者が中心に意欲的に特色 現在三新計画の推進中、ま

票一票の重みを深く考え、心 場に出させて頂き、心から感

場に出させて頂き、

部地区全体を視野に入れた行 ところであります。 これを推し進めると共に西

などの機能化を進める必要が 政、保健医療、産業、商店街

皆様と市政のかけ橋として、

して新屋」の実現を目指して

民の理解と協力が第一であり あると考えています 進めるにあたっては地域住

近にな

10

大型交代となり

関と連携を密にし、 に努力して参ります。 今後、西部振興会等関係機 地域発展

13 ます

、行

豊かな風土と

歴史と文化を生か

して

利で生活条件が整っているこ

は欠かせません。 とを求めます。まだまだ道路 -水道など基礎的条件の整備

特色と機能性を持たせる必要 はそれぞれ目的を持っている。

ては、地域の皆様の大きな熱 き御支援により、再び市政の このたびの選挙におきまし

市会議員 赤坂 光 2

れず、先人の築いた貴重な宝 西部公民 が生かされ、 私たちはふるさとの活性化 そして経済の蓄

の灯消えて俄かに視界狭まる気遣いて行く凍て路に並ぶ店 大 町 野口 千代

ひぐ か生の月冴ゆるこの刻空しく しく

に満ちた「ふるさと秋田、そ

大川町 らしし遠き日 伊藤 浪

永賀理よ なりぬ 戦場の現実は吾知るよしなし 媼に押され目を伏せて行く 車倚子に働きざかりの若者が がむ神を仏を恃みとはせぬ ネーション古びし墓辺明るく 彼岸中日に供えし真紅のカー 還送患者の銃剣を見て 船場町 茨 割山町 八 島 橋 皆川 瀬谷 谷沢林之助 佐藤リツ 多満 富

を思い 乏しきを常とく つつ酌す古稀の夫に

でよろしくお願いします。 一生懸命努力して参りますの

也

騒して行くことが責務と考え しいビジョンを描き、明日 新しいビジョンを描き、明日 新して行くことが責務と考え 館短歌会 ます。 ます。 音の無き世界に生きる人びと の心にふれんと手話教室にお ŋ 初心にかえり精一杯頑張り 泉 佐々木桂子

春靄気おぼろに流る太平山は 「「「「」」 仰ぐ 元 町 渡辺 五郎

ふり向かず前みて生きむ老い し吾れもくれん花芽空指すを 船場町 小林東美子

衰うる体の疲れか亡き母の夢 に目覚めて深き息をす 栗田町 阿部

ヤア

う ね受話機握りてしばしためら 不合格の孫を慰むる言葉あぐ 渡部恵美子

船場町

平成3年5月20日 (2)



伝統の継承 限 は 駅伝

ŋ

な

成三年 度年祝会

숲 長 藤 原

隆

「度数之年四 の類である

例年になら 時代の中で とやさ 同期会」 へさを認識させら 備が進むに たものである。 れて、行事の れた。 の合同 先輩

ことを数々教え できた。 内度から世間を視ること 今日 知り得なかっ ていただき

所息災を祈 と言わ 昔から厄年 過去の厄 今後の無 ただくこ 伝統行 厄

報

り、

社会や家庭での自分の

まりつつある年令に

いさしか

いすると

と社会にお

価の

るものの

現実を凝

要の

経過は個

変化士

0

への関心が稀薄になっ

なりがちで

カに直接関わりの

出来事

立場を最優先させ

伝統の継承 る れか くて定行する

節

H

られ 3 伝統は残されて たろうか。 反省とその デア き継がれて れていく

私共の成功は、 六

余年続



その中で

遊山は特異な存在で

先生は柳沢先生であった。先ある。私が小学校一年の校長

尊祭、

栗田神社祭典と相撲大

祭典

よち

やこの燈籠、地蔵

次に遊山、

鹿島祭、

H

吉

神

社

で新新

E Zo ha

催

し物

の多

41

215

北新町

大

塜

勝太

郎

3

おひな様、

天神様、

会、

まだあ

2

たかもし

れない

生は児童

んじ、県下に魁て、これを学

第76号



受け継いでいただく後輩達へのはなむけとしたい。

装うことなく、我が人生を謳はすこぶる鷹揚である。 歌したい 装うことなり

を連

れて来

て居りました。

や六十七才にもなります。

の年で

すが、疲れも見せず

の子は四十五才、

皆働き盛

米寿 0 祝 0 思 43 出

次女から電話があり、近々子 日先ず先祖の法要と母の五十 の為に子供達が 出供次仏四かけ同かを月 + 1 人産んで無声 を月 って無事の行 翌 っ入 て居てくれ 5 てす 成長 5 でした。 て居てく してく て先い祖 る 0

大川町 高 階 もとい

ぞれの縁でお嫁入りし、たちました。御陰様で孫やひ孫に、御陰様で孫やひ孫に、 いてくれた子供達、長女は早部屋いっぱいに並んで待って れれた 子供達

男の子はそれぞ

C 43 遊 Ш の思 13 Ш

な

0

か

こは運動場になる。町内の有 力者からの寄付による賞品が あった。この賞品は当日の行 あった。この賞品は当日の行 る。私は小学校の運動会を思 い出すと逃げ出したい衝動に を見つも後から一、二番 米走はいつも後から一、二番 ープでとの場所を飾った。その周辺に自分たちの た、脂ののった子持ちニシン、 らとヨモギの大福を造って頂 のが楽しみであった。当日は 各町 い行事で に遊山は待ちに待った、しい存在でした。そんか 62 町内ごとに場所がきまって 存在でした。 した。 北海道で獲れ た、楽し

校教育に取り入れて実践され た先駆者でした。恐らく昔の これを児童生徒の日常生活に ものと思います。

れてもよいと思う。今日も町 れてもよいと思う。今日も町 なかった。こんな楽しいことは なかった。こんな楽しいことは を汲み交わす風景も時には見 みんなで計画をたて、それを 分担し一つの目標に向かって 行動することは将来社会人に のため賞品を頂ける確率力高 のため賞品を頂ける確率力高 るな 出て たりは町内だけの# 人数が少ないため下 したのだけの# 母さんより行かないように も二十才でお嫁になり次々に うましたが、無事授かった可 愛い子供達のため、一生懸命 まだ二、三年はだいじょうぶがら、生まれて来てよかったすりながら「お前達も健 たよ」と私も笑い返しました れてもよいと思う。今日も町なるための訓練として評価さ 送ってほしいし、 ら今まで生きてこられたの上 りました。「今日あるのはおりがたく思わず目頭が熱くたい」との子供達の言葉に、あ れたり、心配させてくれた前達のおかげよ。喜ばして 座に して百才までも生きてくだう。これからもずっと長生 こにこして迎えてくれまし よーと当時を思い、 たいました。 今も続い つくと「母さん御目出 ところが遊 絶対に先に っか遊山での が遊山での で る確率が高 ない うていと

ラジオを持っている家さえ珍今のようにテレビ・ステレオ 屋は松林 然に恵まれたところでした。 屋は松林や砂丘に囲まれた自 ジオを持っている家さえ珍

しか

->

た。

関町後 しただ走るのと違ってとって、した ただ走るのと違ってとって、した しただ走るのと違ってとって、した ただ走るのと違ってとって、した した ただ走るのと違ってとって、した した した した した した した した した した	子供達のはげみ	は決して一人では生きら になったこそ、楽 です。本当に有難 いました。本当に有難 になってす。本当に有難	育て主要で依頼 1.10
などの たりする、町内の子供達が たりする、町内の子供達が たりする、町内の子供達が たり、袋づめを したが、ブ	楽しみ!	がればした。 すくが、おかどをして、 すくが、おかどをして、 たが、 すくが、 が、 生たの などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 などで、 など、 など、 など、 など、 など、 など、 など、 など	
りて五 近 で、 近 で、 で、 近 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、 で、	、進山に弟をつれてい	キャーを迎えて、 キャーでないと思っております。 たを見て、私はうれしく思いました。 なにしなった。 たちした。 本は良かった。 たの死です。 たくなる一ヵ日 たの死です。 たくなる一ヵ日 すの思い出に浸ってもたいた。 本れば良かった。 たの死です。 たくなる一ヵ日 本 たいと思った。 本れもしてあげ たで枕を満らす夜が何日も まってなにかをする。 たいと思っております。 たちろん、 主人も私 たってなにかをする。 たってもたいた。 本れもしてあげ	

会計監事土田幸夫(関町後) 会長 んご苦労様でした。 退任の阿部肇さん今田福治 取り急ぎお知らせします。 雲雀の巣探しあぐねて 空瓶の春の愁いを 到来の鮒の息づき風光る 春雨の重さと知れり 繩飛びの揃う輪の中 葉桜や静かに込みて 長 どくだみの蔭干し 空に声弾む気安さ旅五月 郭公に耳を遊ばせ いちご摘む内緒の話 野菊俳句会 伊藤礼一 小野芳雄 土崎港巽 臨海町 東京都 愛宕町 下表町 下表町 牧野 笹 町 片谷 下表町 三川 昭子 中表町 赤川 テータイム ひとり傘 母の遠山河 叩き割る 0 風光る つつ抜けに 睡い海 遺作展 (十条団地) 佐藤 (中表町) 松田由紀子 峡 天衣女 (愛宕町) 東海林睦子 巨詠子 フミ 火峰 京子 文子

日の労をねぎらうように咲きではと思い、それ以来バラ作 す。人もし それ以来バ 内に、 数本戴きました。早速花びんにとんだ香りの良い切バラを に入れ毎日水を交換して ら、色とりどりの美しく 今を去る七年前ある友 日増しに美しく私の 年時代を迎え、

咲き

ラ愛培

心に残る大切な財産をいたや鹿島祭りの思い出と共に この桜並木をほこりとし 族に残してくれ の桜に見守られながら、 いたように思います。 して一層美しく生まれ変 新屋の伝統行事である苦族に残してくれました。 ここ数年の内に帯状公

数えつくせない かかわりを私

内の皆様との交流を深める 思い出と、 となり、

うなってほ 新屋の活性化に れればと思って 公園を散策することにな この魅力ある新屋大川端 しよう。 へ直行型の観光客もやが ます。 新屋を素通りし大 花は繁栄の象徴であり 店性化につながっ し いと願っ います TL

きの時がひろがる場とな の中の花を「さくら」 2

いをしたこともちりましい。 子供が成長してからは、 た奥様同志で夜桜見物 婦人会の

た道端、色とりどりの落葉を 拾い楽しんだ日々。 つも大川端の桜並木がありま した。手をつないで送り迎え

気

のあっ としゃれこんだり、

一十年。子供の成長と共にい

でも

らし

敢も良い

ことは

当て

(渡辺昭治)

るの

親戚の 走の品々。亡くなった両親や までがはっきり想い出されま る花びらと一緒に食べたご馳 人達の楽しそうな表情



かり咲きそ

ろいました。

年の桜も

すっ

行きます。 の手を休めい. 色とりどりの帽子の園児達が静かに語りあう年輩の御夫婦 引率の先生に話しかけてる可 びょんびょん飛びはねながら が写真を撮ったり、笑い、お 花が垂れ下がり 愛らしさ。 高校生。皆んな陽の光を受け います。 て幸福そう しゃべりしながら通り過ぎて 青空の中、 花を見上げ 制服姿の中 うす 12.思わず仕事 多勢の人達 ながら 学生。

ちれる花です。 真人公園のある増田町を郷里 県内でも有数の桜の名所、

た弁当の美味 横に咲く桜の根本に場所をと 運動会のある早朝、 校庭の

の三角沼の 三角沼のほとりで落ちてく、家族とにぎやかに食べた

第76号 (3)

> Lavrenewananananananananananana

例の 催され多数の人出 季節となった。恒 くらまつり」も開 今年もさく 「新屋大川さ らの 中表町

れ、集 ている。 葉をあしらった紋章にも用い られ、 さくらは、 さくらは花の代表となっ まさしくさくらは日本 また、 で賑わった。 遠い昔から万葉 さくらは花や

の花です。 に各地で「さくらまつり」を このさく らの季節到来と共

しかし新屋にも立派な桜並木催し集客に力を入れている。 がある。道路も橋も整備され、

報

衆

桜

に

よ

せ

τ

沖田町

猿

田

蓉

子

灯も下げられ、この一キロ余 なえもあり、川は清掃され提 げている。 避けた宴会組や、夜桜見物 劣り が年々増え花見気分を盛り上避けた宴会組や、夜桜見物組 りの桜並木は他と比べても見 しないし、むしろ雑踏を

んでいるが、これが完成する 端帯状公園の工事も順調に進 い水の流れ、子供が安全に楽所になることと思います。清 が出来、ホタル狩りが出来、 しく遊べる公園。そして花見 ことにより立派なさくら これが完成する の名

皆んなが憩える風情ある公園 まさしく四季を通じく つろ

平成3年5月20日

5

や

0

さ

れま

0%

も咲

とい

3

回

打

矢

俊

夫





ビー

ルの

1

サヨナラ勝ち、 ての応援で、 和三十三年) 形の秋大グランドまで見に行 ラブでの きました。あの時は町をあげ 合でした。父に連れられて手 全県一を賭けての決勝戦の試 緑色がきれ とはない のは、小学校三年生の ぎることはない」と言うイギ 十月二十 供ながら今でも鮮明に覚えて 立ちで、興奮も頂点に達し、 動しま おり 新屋町民の優勝を

喜ぶ顔 も良き先輩、 ない ンに思 ファ リスの格言を信じて、年令四 いが 味を持って良かっ 5 感じられない美しい光景に感 た。 十三才にして、 貫重なものであり ながら思うと同時に、何より りをしてきましたが 時を過ごして 広々 ように、試合は最終回逆転 私 ゴルフはすぐ 私 私が中学校三年 しょう。私も長い間 63 ましょう ます ことであっ . が野球を初 0 私 美しい人生を送る」 時間が生きてい 2 1 としたフェアウェー わず て」スター いつはじめてもおそす であります。 した。この - 六日の男鹿ゴルフ だろうと、 初打 胸か 63 それに応えるか 日新中 ちに始まり の に映えるグリ 友人 いるのを見 か て「いつ おそすぎるこ め 拡がっ スタンドは総 うまくならな て 雰囲気こそ 生の時 全く老いを たと今さら を得たこと 西中野球部父母の会 観戦 求められ 学校が、 、良い趣 「タカを るとでも ゴ したゴ 時 て、 バラ作 が子 丽 ます。 フク 十年 した 秘訣 まし も楽 -昭 E N 会 ル とわい、 こましてを知らなかっ っても球は右へ右へときれいないのです。いくら力んで打線習場での特訓が効を奏し 一歩を踏み出し、その 惜しくも二回戦で破 たのか、 その年も全県大会に出場 中学校が誕生したわけですが が統合されて 和三十九年) 悪 長 善バラ連合会展覧会大館市長会三等賞、第二〇回秋田県親 全国展覧会三等賞、第六回北第一〇回(財)日本バラ会主催 てこの越味をひとりでも多く に曲がってく を思い出します れからも益々バラ作 バラ作りを広め を感謝し誇りに思 町 賞受賞その他 0 のバラ展東北六県北海道展覧 no -となると、そうはい 同伴の先輩から「頭 人達が楽し い」等 」「早打ちだ」 人賞経歴 7 佐 大 と悔んだり 々指摘 Щ 藤 、新 そうはいきませ H れるのです。 めることを希望 新 が矢の様に 直太郎 ていき、そし 「グリップが 前しく秋田西 その います。こ の伝 れは りに励み したこと 後もす がうご 充 統の した L. 0 ばらし 活態度をまじめに、そして何 県大会に出場していない 合を見る機会が増えたこの頃 ほしいと言うことと、誰から したい事は、まずふだんの生う事です。今後の選手に期待 きささり か心から燃えるものを持っ した。 Ant. 飲ん うすれば、おのずから勝利がってほしいという事です。そ 様になったことが執念となり、 終わって昼食となり、食堂で おり 近ずいて来るものと確信 特においしい クラブを離さなかったことを た。 難しさとビールの味を天秤に えたぎった頭の芯を冷やし 気がさして来たものです。 パニック状態となりま かと寂しいのはここ数年 に練習に精を出したいと思 ことは言うまでもありません。 味と、球が徐々に真直ぐ飛ぶ ゴルフどころではなくなり、 が歩き出したのです。 かけた「ビギナー も応援されるような選手にな こ陳習に精を出したいと思っ今後も一杯のビールを楽しみ コンペ優勝することが出来、 十日(小生の誕生日)に初の よかったと思っております。 てくれたのです。 大叩きしたスコアを忘れさせ 頑 一時休戦の悲しさもありまし ております そして現在私の子供が西中 途中で会社の状況変化で、 球部に入り、 それでも前半の九ホー 七年以来)西中野球部が全 そして昭和五十一年八月三 これ以来ゴルフの苦しさ、 あまりの難 ところがあ 張 ま だ一杯のビールのホロ苦 い成績を築い す。 レ!!西中野球部 のどごしの良さが 頭の中は、 しさに、 0 ビールを飲んだ 練習風景や試 時の ーゴルファ 5

り、季節の昏し、こその他色々 年振りで若い人の肩にお神輿 暴力団関係の露店の出店は道 画し、露店が出い いろいろ多彩な催しものを計 きたいものです。小生のこの 細いのや うにか 幸が年々少なくなって来てい は山菜で舌つづみをうつ。 **警察は拒否した。露店がなく** ため ◎暴 うじ にもあると思う。たとえばミ ること。天候もあるが、乱獲 る事でしょう。我が家も休日 ・シドケ・アイコその他色々シーズン。ぜんまい・ワラビ より 会はその関係者の道路使用を 結販構や と思う。花見の一つの意見の路使用許可を警察はださない かで良かったとの二つの意見 賑やかなお祭であってもまた 可能性もある。新屋の偉い方 様に静かで?良いお祭になる があった。新屋のお祭も昨年 々はこの事を十分お考えのこ 数年前より山に行きつくづ 思う事がある。それは山の ズン。 季節の香りを味わって居 き、 ならず残す。といったよ 編 てい のや男ぜんまいは取らず シドケなどの根物は根を 、今年の千秋公園の観桜力団の資金源壊滅作戦の も長寿を保たせたいと思 を楽しむことができる。 ッケも顔を出 新興連が発足し、四十数 団関係の露店の出店は道 なことです。 チョット いよい れば、毎年季節の味 集 又ぜんまいの場合 ぜんまい・ワラビ よ山菜取りの 後 (仲野政雄) した心構えを Ľ, 記 桜の花

ールを

煮

少々嫌

した。

わい

まさに

持っ

-

L

T

ズ・

平成3年5月20日 (4)

> 問 題 秋田市合併五十周年に当り 新屋を思う座談会 が 山積 (そのニ する新屋 地域の諸問題)

特

集

富野昭雄 ですが、まとまって何かしているのもひとつの明 悩んでいるんじゃないです 問題が出てくるんです。商 先ず日中新屋にい 店会でも先が見えな過ぎて やろうとするといろいろな か。 言えますね。 令構成が高いということが 商店街に まとまって何かを 商店街が散在 る人の年 ついては 問題

増えた方が良い面もあると ね 飲食店が少なくて、夜が早 く暗くなることも言えます います。 喫茶店、スナックなど

報

衆

しもできますが、外に に悩んで 商店自体としても解決方法 ないでしょうか。商店街に しかできませんね。 ひとつ ないので、と、 いて、 先細りじゃ クリ話

ている状態です。 つるまい ますが のがないので単発に終わ . これにつながるも さんが朝市やって

うのが真情なのです。

あ

5

高野トヨ 婦人会で 新屋に病院持っ るというのはどんなもので 算に乗る訳がないというこ 病院でも赤字経営なので、 と思っ し取り組んで行きた ていますが、 て来ても採 . 市立

斉藤和歌 も不安を感じています。跨 線橋で渡る様にできない か、 のでしょうか。 しょうか。 **踏切を渡りながら何時** 新屋駅のことです

阿部会長 ります。 陳情事項として提出 の担当者から「今のところ 陳情に行くと役所 西部地区振興会の してお

第76号

その様な計画はあり

ています。 す。 ころです。 SIC ても、 できるんじゃないかと考え 情に来ているんで、何とい でも良いからと陳情していまても、病院と言わず診療所 う回答かと憤慨していると ちは計画がないから陳 と言う回答なんです。 バルプの診療所跡など 医療施設につい ませ

高野 振興会が毎年陳情して 二年で実現して欲しいとい ます。住民としては一、

斉藤(和 て欲しいと思います。 外資本でも導入して差し支 ちい レスト えないことですので、 いなと思いますが、 大森山に宿泊施設や -ランなど建設できた 進め 県

て欲しい も声かけ お祭りの神輿なども婦人会 ですね。 て盛んにして行っ

高野 小野隆三 昨年は東北電力の高野 神輿はいいことですね ラグビー てくれました。 部員が大活躍をし

富野 **『野**東北電力の合宿所にい こ十代の人たちの参加が 私達で良け してくれました。 ればと快く を ますが、 ら 加が少

> 小野 高野 小野 の横幕を寄贈しました。相 したところ、先ずやっ て見たらいいじゃないかと 小野 東北電力の若い人 名前を挙げて頂いて ことで飲食店でもでき に心を通じ合える様に のお弁当などを持っていと言うことで、例言 ます。各家庭から一 う考えで、 ですが。 という人が 理解してくれま と縁を結んでお らしの老人たちとのふれあ というお話があ ます。会費制への切替えな て語り合える様な、 63 ても町全体として ものです。 いことじゃない 冠婚葬祭の簡素 ラグビー した。 きた ことなん 力。 木

して力を貸してやって すがとれる様住民の要 っと人が来るんじゃな C. そこは風致地区だか 晴らしい眺めで、 あそこの夜景はホン されないだろうと 希望しているんで 場所は動物園管理棟 実はレストランを開 などもよく来ますし す。 折角資金を出し いんじゃないかと思 と人が来るんじ 立ち消えの格好 いたんで りま -62 うこと きした「動園の ベック素 います。 そろ名 ~ ても良 要望と 建設許 んです て建て ないで ら許可 の下を か

て地域住民がも

す る

阿部 来の駅舎です。 新屋駅は大正十二

考えて 応とたち 人ずつ て行っ にした と思い す。けても て行 ット 斉藤政雄 るのに三百三十億円かけたって、ネブタの里の様に「酒 小路を今の様にモダン て、前 にグランドを立派に整備す 合併になる時 蔵の里」や「鹿島さんの里」 る、テニスコー スポ E *に思います。秋田の仲一変させる時期に達し Ŧi. + ツの 年 ンにす

を

土地

新屋は運動 前秋田市に を二面作 新屋」

るということが、目標とされていた様です。当時は野 れていた様です。当時は野 れていた様です。当時は野 がられた位だったの点極めて れば大変残念な状態です。 それでは新屋には運動する場所 がられた位だったの点極めて れば大変残念な状態です。 それでは新屋には運動する場所 れば大変残念な状態です。 それでは新屋には速動する場所 これについ

でおりますが、パルプ工場や国 を変えて、パルプ工場や国 に、政治、経 必要があり っと関心をもって運動 経済と文化施設 ます

喫茶

って新屋駅まで道路がです。ここで新屋駅まで近路が少なって新屋駅まで道路が少な って新屋駅まで道路が 復活 や美術館 です。豊岩――仁井田の橋場所にすれば人も集まる筈 まれば る場所 一層便利になると思 さ を造 **銘産品の買える** せ るに は

、誘致を焦ることは考えな

滝沢勝男 ではなく、小さい時はあん の提供について、 ゆるスポー 手助け ら目指す **啰信晴** 、 きだと思いますね。 、 するの て貰っ して貰いたいと思います。 スポ少なんかも、サッカ ----人が協力したことを思い出 つの方法と思います。 けして行くと言うのも 増す方向を明らかにし 新屋の体育 る時の いろんな 協会か

大塚信晴 ジブシー見たい ち々に 合ですり 会をやって 欲 育館など貸して貰っ には養護学校があっ するところがなくて困ってますが、他の町内では練習 し自由 62 に使 と思 っています。北部 年一回スポーツ大 える運動設備 63 ます ます い頼 だなと言 んでまる 北新町 ており ζ. もう 体 が少っで

よ。

あ



富野勝ち負けとい が挙がらない。 こ 0 の年令によってスポーツを くて親御さんたちは、子供 が挙がらない。そうではな

日えば、地域のスポーツ ポーツ

ガビ

大王製紙 なる、 地域な を念頭 地が大きいと聞いてい できると夜更かし がで んでい 不良が が果たして秋 る面が 42 2 いか ます。 1 7 1 è. える あり 1 スか なが東い公 まポの 飲 63 6 カド 1 大塚 大塚 個々にいろいろなもの大塚 個々にいろいろなもの 指導者の先生は何年かが、教育の場に依存し の祭りコしたからと言 野地域の う所に行 沢 ないと思 対だとか、 強くなっ 出手 を変えて行 条跡地に

綜合病院や公営住 5 会社なし」 と変わ ありましたね。「東北電力 え ことも大切だと思い 0 住 そ な グビー部のことなんです。 0 雰囲気が新屋衆にあるんで うところに入られない様な てるなどと言って、 力新屋 今はなくなりまきたが「新 ンと来たのは、東北電力ラ 県産品を作 欠けるとか人の足引っ 新屋 とか人のやること何でも反 て町の人が死ぬ程応援して る様に頼むんですよ。そし つかということもあります 出手県の「手作り村」といいものを一ヵ所に集中する しまう。 れが終わればガランとし む人を多く 62 コミュニケーショ と成り立たない ッとい 」というチーム名にす 喫茶店などは人が多 42 ります 5 て貰う。「東北電 0 したからと言 います が語呂がいいかど 2 いうことで直ぐピ こう言う かなけれ って見 理想を言えば十 て することが望 しね。 いるのを見 0 そう言 ば とこ か経 as L って 人 ンに 何人が ばる ても 62 17 3 0 富野 れてますが、例えばアメリ どない。工場の方も新屋と たまたまここに土地があっ たから建てたんだという程 今誘致された工場を見ます どない。工場の方も新屋と 業者に非常な経済的恩恵を ■野 十条製紙が町の発展に 大したもんだと思いました。 リカからの進出企業は、「地 化の面で英会話教室を開い という化学メーカーは、文 が、日本して会社 ボランティアへの参加さ 海道ナンバ 所に集中 のを買う るだけ 度の意識しかない 外の め社会 望ま 日本に進出したジョンソン 放して地元に貢献 与えてくれた、人的な雇傭 その他で及ぼすマ カの企業は地元に門戸を開 人 も勿論多かった。 響には全く無関心なのです。 0 の車までありましたが L 物 とか 日本の場合は特定の何 人が多数見に来る。 でなく地元 カミ 0) して会社なし」 のは地元 一員とし 何でもある。 ことができる。 しているので きて、 名古屋ナン いるんです いるんです ての義務 しなけれ を利用 参加 に貢 欲 を始 献 41 -----× . バ北県 す 県 73

大塚 す。何が何でも勝たねばな り過ぎの感じがします。 り過ぎの感じがします。 してくれる大企業がありま ただスポーツを通じて上下 ただスポーツを通じて上下 この点を親たちが理解している。 くれれば、勝敗のみに拘わ 害問題が大きいと聞いてい じゃないかと思い 少に入れて なんど飲 喫茶 多く せんが、瀬戸内海にある工田に来るのかどうか判りま 教育 ます。

桃の花が今がさかり。ビンク 色の花びらが道行く人に笑顔 であいさつして、道路の向かい側 には芝桜が白や紫の花が一面 には芝桜が白や紫の花が一面 うの未知の人との対話も楽しませてい い。草花を愛する思いやりの 心が実ったのだろうか。 辺思さんは将棋二段、カラオ とが好きな人が多い。特に渡 た。 こと間違いないと思っ ◎大川端の桜並木を川の流 花は実り、 ケ三段と、 00 下流には水門が建設されて が味が ら気持 季節には、先輩たちが植えたて着々と進んでいる。来年の る。帯状公園は完成をめざし 放置 ゆく春が惜しい って賑やかであった。 と美しさを増し「新屋名所 の頃である。提燈の明りの下一度、桜の花びらが散り初め に来ている会社は経営方針 野 来て欲しいと思います。既地元のためを考える企業に ボイ を果た 我々人間の心身も同じで、 ちが悪 が広報部会は別名カラオ L 編 何でも来てくい ラー ある。 てお 独特の 集 木は更に太り い。自ら美しく浄 余熱の供給とか にすべきだろう。 くと雑草が芽ばえ 施設の開 意外 こと思った。私は 後 (菊地幸子) にも部長 シまわ れとい 記 放と 一段 た。 た。 流 * 7. n 3 42

阿部 に恵まれ本当に幸せでした。 幸子と大野恵美子。良い部員 量豊かな男らしい歌声でなか なか聞かしてく 5 告募集に足を運ぶことを仕事 渡辺忠雄。 似合う。 そういう 重昭。 たい。 任感が強く仕事の速い菊地 率先垂範とまとめ役に徹し 原則として、原稿集めと広 町の人々ができるだけ沢山 来たる」のたとえのごとく とつまらない。「笑う門に す。人生怒って暮らしてい るし、笑いは体を活性化し ている色紙。私はこの言葉 かいの中に水墨画で花を描 た色紙の一節。みごとな筆 女性の患者さんからいただ から二十年程前に、次女が 「笑顔は人生のパスポー 目的にしているので、人が ラオケ大好きとあって、声 したいと思います。 持っている話ですので、"あ 新屋の住民がみんな関心を 頂き有難うございました。 ければいけませんね。 仲野政雄。真面目の手本小 男。明るい話題の何でも博 わらず貢献してくれた大島 員が書くのは編集後記だけ 面に名前が出る様に、広報 切な人生、 してきた。笑顔は好感がも大好きでいつも笑顔を大切 院した時、教職を退職され 平和な日本にカラオケはよ うのにあわせて一緒に歌い まからずへタからずの中道 らや衆報。を通じてお伝え トレス解消を計っている。 名カメラマン渡辺昭治。 して来た。 御礼申上 本日は貴重な御意見を 軽妙な名文家堀川勝 小生は歌のほうは 上げます(田村) (文責 多忙な勤務にも 0 42 (大野恵美子) れるのである。 (小松重昭) い笑顔で過ご 広報部) -+-